







指使い…
いやらしくて
ねちっこい…

うう…

キュッ
ギョッ



これ…っ
ゆびが…

いつもは
こうまで…



終わり…?

あ…

ギョッ
ぽんし



ひ…硬いの
が当たって…っ



さ…流石に
それは…っ

や…やめ

おや!!



もういいよねっ
アオバちゃんっ

え…!?
ちよ…っ



うう…っ

気持ち悪い…

早く終わって
ほしいんですけど…

アオバちゃん…

アオバちゃんッ



アッ

アッ

アッ...

アッ...

アッ...

アッ...

いた...い...

そんな...

なん...

アッ...

アッ...



……

……

……

そろそろ
出そうっ♡

服汚さないように
中に出して
あげるからね♡

じゃあ
一番奥で……

出るよッ

……

……

……

嫌……です……

今日は……

へー……
危険日かあ

……

……

……



危険日デートするようないやらしいメスガキに…っ

種付け制裁するの
たまらん…っ♡

ふー…出した出した♡
ちゃんと受精しろよ♡

それじゃデート
楽しんでおいで♡



先生…

…お待たせしました

アオバ…？

ふん…

ふん

ふん

わん



カッパッ

カッパッ

あー
アオバちゃんっ

カッパッ

カッパッ

カッパッ

気持ちいいよっ♡

カッパッ

……

カッパッ

カッパッ

カッパッ

また…中に…

おっ
カッパッ

あれ以来

最悪……
なんですけど

ツン…

車両：路地裏…
公衆トイレに…

……っ

カサカサ

毎日のように
呼び出しては

カサカサ…

おじさん

おじさんは動画を
チラつかせながら

カサカサ…

カサカサ…

関係を迫って
きました

カサカサ…

繰り返される
行為に

カサッ

私は諦念し…
受け入れ続け…

しばらく経って

身体の変化に
気が付きました



ちが…ッ
あの人は

確か…
シャレーの先生
…だっけ？

あの人…生徒に
モテモテだもんね

だって
そうでしょ

アオバちゃんって
いつも油まみれ

煤まみれ

加えてこんな
貧相な身体…

まともな男なら

どう考えても
眼中にないでしょ

勘違い…

ぬちっ♡

僕なら
安心してよ

そっか…
勘違いだったんだ

ぬちっ♡

アオバちゃんのこと大好きだし

責任だって
取るからね♡

ぬちっ♡

ぬちっ♡

ぬちっ♡



先生に
とっての私は

一人の生徒に
過ぎなくて…

道端の石ころ
みたいなもので



ほんっ…と

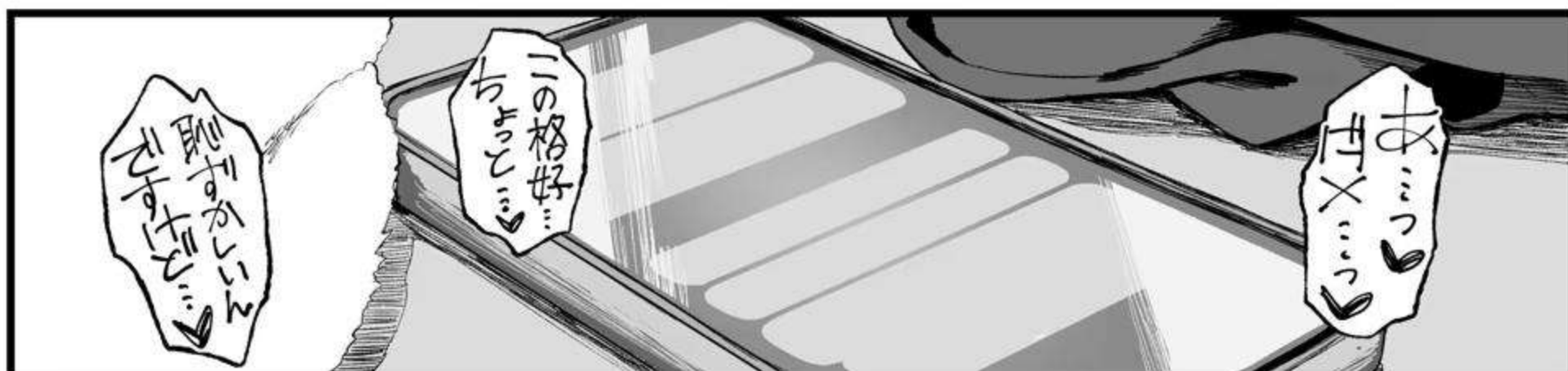
馬鹿みたい…
なんですけど



一人で
舞い上がったり
なんかして…



なのに…
可能性があるかも…
なんて勘違いして…



アオバちゃん
好き好きっ♡

あはっ
ちょーし…♡

はっ♡
おめ♡
ほっ♡

…私の修理期限は

おめ♡
おめ♡

おめ♡

おめ♡

とっくに……
過ぎてしまったので